

# 高校野球青森大会組み合わせ

# 光星など2回戦から

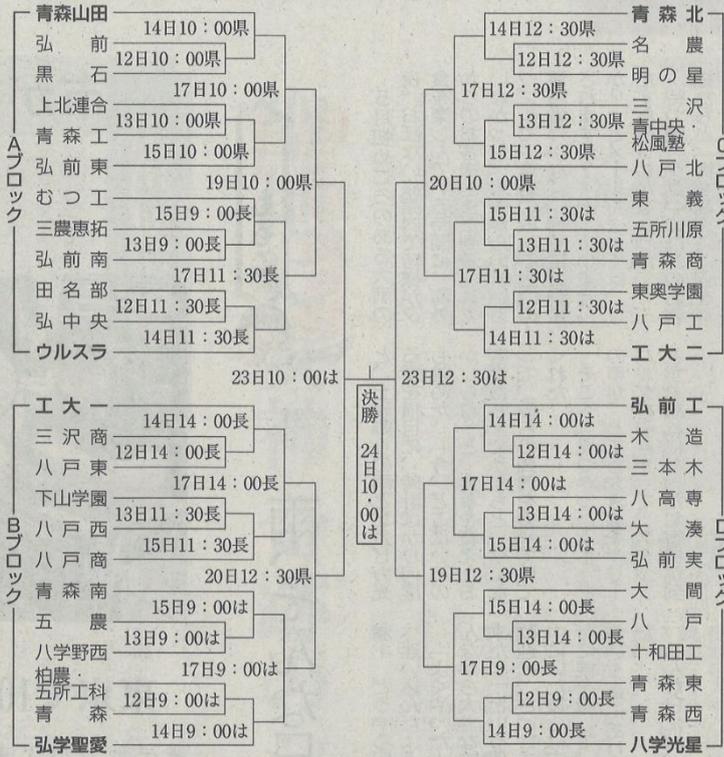
第107回全国高校野球選手権青森大会(7月11~24日)の組み合わせ抽選会が26日、青森市の青森県総合社会教育センターで行われ、出場48チームの対戦相手が決まった。春季東北地区大会準Vの八学光星は、青森東―青森西の勝者を初戦で迎え撃つ。

抽選会では、第1~4シードの40チームはフリーで行われ、森山田が筆頭だ。初の第5シードを獲得したウルスラ、弘前東などが王者候補に挑む。

Bブロックは、春の雪辱に燃える工大と弘学聖愛が軸。三沢商、八戸などが勝つ。青森などの実力校も上位をうかがっており、Cブロックは混戦模様。強力打線が売りの青森北、好投手を擁する工大、昨夏4強の東義な弘前は、か夢が舞台となる。調整日と移動日は16、18、21、22日。順調に進めば、決勝は24日午前10時から行われる。

## 第107回全国高校野球選手権青森大会組み合わせ

(参加校=48チーム、太字はシード)



※上北連合=六ヶ所、七戸、野辺地の連合チーム

### 会場

は=弘前はるか夢球場 県=青森県営球場 長=八戸長根球場

## 県南シード4校気合十分

〇…夏の甲子園出場を一戦必勝で優勝を目指した青森大会の組み合わせが決定。抽選に参加した、県南地方のシード4チームの主将も頂点へ向けて気合十分だ。

ライバル青森山田と並び、優勝回数最多を誇る八学光星。山上春人主将はチームカラーに徹し、

「チーム状態は上向いていて、粘り強い野球が確立されてきた」と自信をのぞかせる。

初のシード校として大会に挑むウルスラの松村優圭主将は「チームワークの意識をさらに高めて試合に臨みたい」と思いを語った。



抽選会に臨んだ八学光星の山上春人主将(26日、青森市)